

# 刺客蚊公之墓碑銘

柩に収めて東都の俳人に送る

正岡子規

青空文庫



田舎の蚊々、なんじ汝竹藪の奥に生れて、その親も知らず、昼は雪せつち  
 隠かんにひそみて伏兵となり、夜は臥床がしやうをくぐりて刺客となる、  
とつ咄汝の一身は総てこれ罪なり、人の血を吸ふは殺生罪なり、蚊帳  
 の穴をくぐるは偷ちゆうとう盗罪なり、耳のほとりにむらがりて、雷声  
 をなすは妄語罪なり、酒の香をしたふて酔ふことを知らざるは、  
 飲酒罪なり、汝五逆の罪を犯してなほ生を人界にぬすむは、そも  
 そも何の心ぞ、あくまで血にふくれて、腹のさくるは自業自得じごうじとくな  
 り、子をさして母をこまらせ親を苦しめて子をなかせたる罪の、  
 今忽たちまち報ひ来て我手の先に斃たおれたり、悟れや汝生きて桓公かんこうの血  
 に罪を作らんよりは、死して文人の手に葬らるるにしかず、丈じやう

草<sup>そう</sup>かつて汝が先祖を引導す、我また汝を柩<sup>ひつぎ</sup>におさめて東方十萬  
億土花の都の俳人によするものなり、何の恨みか存ぜん<sup>かつ</sup>喝。

念仏のときぎれけり蚊をたたく声

〔『法の雷』第十三号 明治24・10・15〕

# 青空文庫情報

底本：「飯待つ間」岩波文庫、岩波書店

1985（昭和60）年3月18日第1刷発行

2001（平成13）年11月7日第10刷発行

底本の親本：「子規全集 第12巻」講談社

1975（昭和50）年10月刊

初出：「法の雷 第13号」

1891（明治24）年10月15日

※ルビは新仮名とする底本の扱いにそって、ルビの拗音、促音は小書きしました。

※底本では、表題の下に「盗化生」と記載されています。

入力：ゆうき

校正：noriko saito

2010年4月22日作成

2011年5月11日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 刺客蚊公之墓碑銘

柩に収めて東都の俳人に送る

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫  
著者 正岡子規  
URL <http://www.aozora.gr.jp/>  
E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)  
作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU  
URL <http://aozora.xisang.top/>  
BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

### Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>